

# 平成29年度 姉妹校等留学プログラム

## UNIS-UN 学生会議派遣行事

### (1) 学校・団体名/種類（派遣高校生的人数）

横浜市立東高等学校／海外研修（2名）

### (2) 渡航先

国／都市：米国／ニューヨーク州ニューヨーク市

外国の高校：United Nations International School

### (3) 期間

平成30年2月27日～平成30年3月6日（8日間）

### (4) プログラムの趣旨・目的

- ニューヨーク市で開催される UNIS-UN 学生会議に本校生徒を派遣することにより、
  - 世界の様々な問題について考え国際理解を深めるとともに、問題解決能力を養う。
  - 学生会議でのプレゼンテーションやディスカッションを通して、実践的コミュニケーション能力を育成する。
  - 世界各国の学生と接し、多様な文化や考え方を知ることにより国際感覚を養う。
  - 学生会議への参加やホストファミリーと過ごすことで、日常会話としてのコミュニケーション能力や異文化間コミュニケーション能力を養う。
  - UNIS「国連国際学校」と友好関係を深める。
- また、米国での家庭生活を体験し、異文化理解の糸口とする。
- さらに、海外旅行中の様々な場面での対応法等を学習する。

### (5) 活動内容

米国ニューヨーク市で開催される UNIS-UN 学生会議に、選考会を経て選出された生徒を派遣し、それまで育成してきた「的確に情報を収集し、論理的に思考し、わかりやすく他者に伝える力」を発揮・検証する場とするとともに、異文化理解の一助とする。

会議への参加以外にも、米国の高校生活の一端を体験できるほか、各国高校生との交流、ホームステイなど、通常の国内の学園生活では得難い学習の機会が与えられている。

### (6) 実績・成果

○ 派遣高校生 KSさん・YMさん

UNIS-UN 第1日目 2月28日(水)

各自ホストファミリーと国連本部前に集合し、セキュリティチェックを終えた後、入場した。会議が始まるまでは写真を撮ったりすることができた。

開会式の後、2名のゲストスピーカーの講演を聴き、そのあとで与えられたテーマについて生徒がそれぞれの意見を述べ、テーブルごとに for (賛成)か against (反対)かをまとめて投票した。昼食休憩では世界中の招待校の生徒と同じ部屋で昼食をとり、休憩

後に議場に戻ってからもう一人のゲストスピーカーの講演を聴いて、終了した。

#### ☆ 1日目のディベート

今回の1日目のディベートの議題は「警備はプライバシーよりも大切か」で、私たちのテーブルは警備のほうが大切、つまり賛成(for)に投票した。全体の投票結果としては37対56で反対(against)の勝ちとなって終わった。

#### UNIS-UN 第2日目 3月1日(木)

2日目の会議の大まかな流れは、TEDを15分間視聴し、二人のゲストスピーカーの講演を聞き、それぞれ質疑応答を行った。その後学生のみでの議論を行い、賛成か反対かの投票を行った。昼食を済ませ、残る一人のゲストスピーカーの質疑応答を行った。

#### ☆ 2日目のディベート

二人の講演を聞いた後、昼食を食べ、生徒によるディベート、そして投票を行った。議題は、「AIは社会に破滅的な影響をもたらす。」最後まで接戦であったが、わずかに一票差で反対派、つまり「破滅的な影響はもたらさない」側の勝利となった。

#### UNIS 日本語科での日本語会議

2日目のUNIS-UN本会議終了後にUNIS本校の校舎で、日本から参加した他校の生徒とUNISの日本語学科の生徒と日本語でディベートを行いました。

「イノベーションを続けると持続可能な社会に到達するか」というテーマでした。テーマについて賛成派と反対派に分かれて賛成派は賛成の理由、反対派は反対の理由を主張しあい、最終的にジャッジがどちら意見のほうがより優れていたかを、意見の正確性、論理的かどうか、説得力、表現力の4つの観点から判断しました。

最初に各グループの主張をそれぞれ話し合い、発表しました。賛成派のグループはイノベーションの必要性について話し合いました。より持続可能な社会を作るためには地球環境や資源を大切にすることが大切という意見になりました。そこで、地球の環境や資源を守るためにイノベーションが必要であり、特にグリーンイノベーションを進めることで達成ができることと、将来使う資源の量を減らすことができるという2点について発表しました。反対派のグループからはイノベーションを進める事による先進国と発展途上国の間の格差が広がってしまう、伝統文化が廃れてしまうという3つの意見が出ました。



次に質疑応答を行いました。グリーンイノベーションによる森林破壊を防ぐ方法などの質問が出ました。最後にまとめとして各グループの最終的な意見を発表します。賛成側の意見はイノベーションにより環境や資源を守ることができ持続可能な社会に到達するという意見でした。反対側はイノベーションを進めるには長い時間がかかり他にも各国の格差問題などのもっと解決すべき問題があるという意見でした。

結果は、論理的かどうかについては互角で、正確性では賛成側が優勢でしたが、説得力と表現力が反対側のほうがよかったので反対派の勝ちとなりました。

実際に参加してみてそれぞれの学校で調べていた内容が異なっていたため僕が知らなかったことを知ることができました。アメリカ生活が長いUNISの日本人学生にとっては日本語が難しく理解が難しそうでしたが、できる限り積極的に発言をされていてすごいなと思いました。僕ももう少し積極的に発言できるようにミスを恐れずに発言していきたいと思います。



## UNIS 本校での諸活動

### ★ Cultural Showcase 「空手」 3月2日(金)

YMさんが空手の黒帯を取得していたため、YMさんの指導の下、2月の中旬から練習を始めた。KSさんと私は突き・蹴りの基本技を、YMさんは発表の初めと終わりに型を一つずつ披露する予定だったが、当日用意されていた Cultural Showcase の舞台は聞いていたほどより狭く、型ができるような広さではなかったため、急遽初めの型をなしにして、終わりの型も当初から考えていた型とは違う型を披露した。見ていた生徒のうちの何人かが携帯電話で演舞の様子を動画撮影しており、少し恥ずかしかったが嬉しく思った。私たちは BGM も何も使わなかったため、足が床に着く音や気合いの声しかなく、その独特の静寂が日本らしく感じた。他国の生徒からも、ここでしか見ることのできない文化や暮らしを教えてもらうことができ、とても興味深かった。



### ★ ワークショップ

Cultural Showcase の後、ワークショップに参加し2つの講義を聴きました。

1つ目の講義はニューヨーク市立大学の教授によるスマートシティテクノロジーについてのもので、データを使ったより良いまちづくりについての話でした。なかでも一番興味を持ったのはスマートガンの研究です。スマートガンとは誤射を防ぐための銃で、そのために様々なテクノロジーが使われています。今回は撃つ前に簡単なアクションが必要になる銃が紹介されました。そのアクションは自分で設定することができ、様々な種類に対応できます。また、先端についているセンサーによって撃てなくなる距離を設定することもできます。

2つ目は UNIS のロボットサークルの学生による講座でした。彼らはロボットを使った試合をしており、自分達でロボットを組み立ててプログラムまでしています。そのロボットは色を識別したり物を運んだりと様々なことが出来ます。回る時の角度を決められたりできます。高校生でそのようなロボットを作れるのはとてもすごいことだと思います。ロボットが災害などの際に活躍するために必要な技術が見られてよかったと思います。

(同日の午後に予定されていた、市内ツアーとダンスパーティーは悪天候のために中止となった。)

## ホームステイの思い出

### ○派遣高校生 YMさん

私にとって人生2度目のホームステイでした。前回は、日本人の英語が割と話せる方と一緒に英語のみという環境ではなかったのですが、今回はやや不安がありました。しかし、行く前に連絡を取り合うことができていたために不安もいくらか和らぎ、会うのがとても楽しみになっていました。

私をホストしてくれたのは私よりひとつ年下のMさんで、アイルランド出身のお父さん、カンボジア出身のお母さん、私よりひとつ年上のお兄さんと住んでいます。カンボジアに行ったことがありカンボジアが大好きな私にとって、お母さんがカンボジア出身なのはうれしかったです。初日は UNIS からお家へ帰る途中でエンパイア・ステートビルや国連本部を見せてくれたり、タイムズ・スクエアに寄ってくれたりしてとても優しいなと感じました。ホームステイ先にお世話になる日のうちの一日は Mさんのお友達のドイツ人の子のお家にMさんと一緒に泊まらせてもらいました。Mさんのお友達のマンションは30階建てで、屋上に行って昼の景色と夜景の2つの絶景を見せてくれました。どこを見ても綺麗でエンパイア・ステートビルや、ブルックリンブリッジなども見ることができました。

Mさんのお友達はスペインの子をホストしていて、みんなで集まったときは国際的な空間が生まれ、文化交流ができてとても楽しかったです。

その日の晩御飯はMさんのお友達のお母さんがスパゲッティとサラダを作ってくれました。そのお家では食べる前にみんなで輪を作るように手を繋いで「何か」に対して感謝を一人ひとつ述べるという伝統がありました。私はI thank for this amazing experience. (この素晴らしい経験に感謝します)と言いました。スパゲッティの麺はモチモチしていて、味や量も私にとって丁度良くてとてもおいしかったです。

次の日はホストファミリーのお家にお世話になって、お父さんがアイルランドのスーパーでおすすめのアイルランドのチョコレートを買ってくれたり、お母さんがカンボジアの料理をふるまってくれたり、国際的な体験をすることができました。



お母さんが作ってくださったカンボジア料理はすごくおいしくて、香辛料の香りなどがいまだに忘れられずまた食べたいなと思っています。カンボジアで人気のある手作りのお菓子も食べさせてくれて、炊いた米をつぶして干して穀物などと一緒に味付けをしたお菓子でした。日本では食べたことがない味だったのですが、スイーツというよりはせんべい系の味に近かったです。このお菓子もすごくおいしくて、「おいしくて好きだ」

ということをお伝えすると、ジップロックに入れて持ち帰らせてくれました。お兄ちゃんも侍になりたかったときがあったらしく、私が小・中学校で空手、中学校で剣道、現在高校で弓道をやっていたことを伝えて写真を見せると、武道ができることをとてもうらやましがられ、自分が置かれている武道ができる環境に感謝をしなくてはいけないと思いました。彼の部屋には盆栽があって日本に興味を持っているのかなと思って少しうれしくなりました。

ホストファミリーに横浜を紹介するとき、お父さんが動画サイトで横浜のツアーの動画をテレビに映してくださって、説明をしやすくしてくださいました。自分の街を海外で紹介しているのはすごく新鮮で楽しかったです。夜景やカップヌードルミュージアムに興味を持ってくださって、自分の街の名所を紹介できたのがいい思い出になりました。

ホームステイ先での生活が終わってしまったあとも連絡を取り合ったりして SNSでも繋がることができました。お父さんは私のことを「家族」として追加してくれてすごく感動しました。お父さんがメールでニューヨークでの短期留学プログラムの資料を送ってくださってとてもうれしかったです。ホストファミリーがニューヨークに来たらまた連絡してねと言ってくださったので私は日本に来たら私が案内す



ると約束をしてきました。

また会える日が楽しみです。

### ○派遣高校生 KSさん

僕にとって初めてのホームステイだったので最初は緊張していました。今回お世話になったのはイタリア出身のお母さんと同い年のG君の家でした。事前に日本食に興味があることを知っていたのでお土産としててんぷらやうどん、せんべいなどを持っていきました。てんぷらは好物の一つだったのでとても喜んでくれたのでよかったです。二人ともとてもやさしく長旅や会議で疲れている僕を気遣ってくれたので自分の家のように過ごすことができました。

2日目にはNYの案内をしてくれました。

Tシャツを一緒に買いに行き買い物のおときには会計の仕方を教えてくれました。その日の夕食はタイムズスクエアにあるPlanet Hollywoodというお店に連れて行ってくれました。そのお店では映画の展示があってアメリカの映画の話をしてくれました。



3日目には夕食で他のUNISの生徒の家庭と一緒にご飯を食べました。「何か日本のご飯作ってよ」って言われたので持って来たものを使って茶碗蒸しやうどんを一緒に作りました。イタリア料理のパスタやティラミスを作ってくれました。とてもおいしかったです。朝ご飯で食べたヨーグルトケーキやパイヤもとてもおいしかったです。

今回初めてのホームステイでしたがとても楽しく過ごすことができました。自分の英語力が足らなくてコミュニケーションが取れないこともありました。ホームステイ中は簡単な英語で話してくれてくれたので良かったです。しかし、もっと二人と英語でしゃべれるようになりたいと思ったので英語の勉強をがんばって二人に会いに行きたいです。



## 市内視察

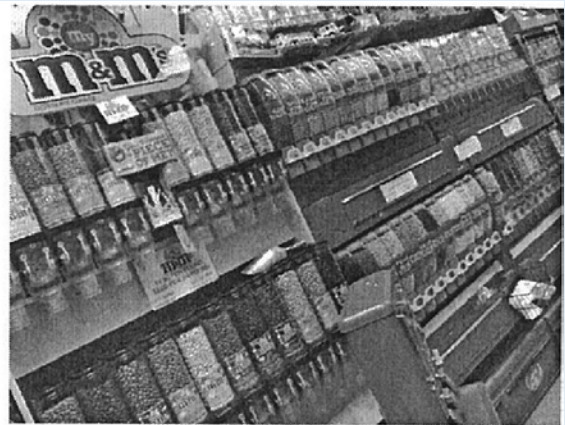
★ 2月27日

一日目はチャイナタウンと私が行きたいと申し出ていた老舗の駄菓子屋、『エコノミーキャンディー』に行きました。建物や人、食べ物など、すべてが大きいなど衝撃を受けました。

ニューヨークのチャイナタウンは看板がほとんど中国語で書かれていて人々も中国の方が多く、規模もすごく大きかったです。自分は本当にアメリカに来たのだろうか、と思ってしまうくらいチャイナタウンが中国さながらでした。お昼ご飯はチャイナタウンのレストランでいただきました。先生おすすめのおチキンやお粥と一緒に食べる揚げパンや、麺などを分けて頂いたのですが、すごく美味しく、本場の味を食べられた気がしました。私は鶏肉と季節の野菜の餡かけとお米のプレートをいただきました。とても美味しかったのですがお米の量が私が普段食べる3倍くらいの量で食べることができませんでした。ほかのレストランで食べた一皿の量もすごく多くて驚きました。

次に私たちが向かったのは『エコノミーキャンディー』という1937年創業の老舗駄菓子屋です。外観も内装もすごくかわいくてまるで映画の世界でした。そこにあったお菓子は同じものでも現地のコンビニで買うよりも安く売られており、品揃えの幅も広がりました。ぎょっとするような色のお菓子や、大きなぐるぐるキャンディーや、お菓子の量り売りもありました。

日本では見かけないレトロの混ざった海外系の可愛さがあって見ていてとても楽しかったです。



★ 3月4日

この日は自由の女神など南のほうに向かいました。

最初に Staten Island 行きのフェリーに乗りました。そこから自由の女神を見ることができました。自由の女神のことはあまり詳しく知らなかったもので、今回見たことが調べるきっかけになりました。次に SoHo に行きました SoHo はニューヨークの中心街に比べて高いビルが少なくおしゃれでかっこいい町でした。そのあとチェルシーマーケットへ行きました。そこでは多くの魚介類が売られていました。日本

のお寿司を作っているお店もありました。アメリカで見たお寿司にはアボカドが入っているのが多かったです。やはり食文化はその国で変化するのだと思いました。夜はルーズベルト島へ向かうロープウェイに乗りました。そこからはニューヨークの夜景が見えてとてもきれいでした。夕飯はマクドナルドで食べました。僕は以前からアメリカのマクドナルドに興味があったのでとても良かったです。



### 旅先で気づいたこと

#### ○派遣高校生 YMさん

出発する前にスリや盗難などに気を付けるように嚴重に言われていたのですが、実際ニューヨークに行ってみると、駅で大荷物を持って困っていたおばさんをすぐに誰かが助けていたり、混んでいた地下鉄内で私がホストファミリーと少し離れてしまったときは、降りる駅をほかの乗客がホストファミリーから伝言してくれたり、セルフレジがうまく使えなくて困っていたら、店員さんじゃない人が助けてくれたりと、いい人がたくさんいるんだなと感じました。そのほかにも日本に比べてレジ打ちの人がフレンドリーな方が多くてとても楽しかったです。



建物はすごく大きくて高いのものが多かったです。街中のいたるところに星条旗が掲げられていて日本に比べて愛国心が強いのかなと思いました。建物の色もカラフルでペイントされている壁などもたくさんあってとてもオシャレで羨ましく思いました。私が見た感じだとポイ捨てがほとんどなくてとても綺麗で、聞いてみたところ現地の人もニューヨークの景観が好きだそうで、本当にいい街なんだなと思いました。

売られている水のペットボトルや地下鉄がアーティストによってデコレーションされているものもあってさすがアートの街だと思いました。ニューヨークのどこを見ても絵になる景色で建物や道路や人や車もみんなオシャレで楽しかったです。



## ○派遣高校生 KSさん

もっとも印象に残ったことは銃です。

僕たちはスタテンアイランド行きのフェリーに乗りました。窓から甲板先端に銃がついた船を見ました。最初は生まれて初めての経験だったので「すごい」と思っていました。しかしあとから考えるとアメリカでは銃はとても身近なものなんだと感じました。とても身近だからたくさんの事件が起こってしまうのだと思いました。今までは銃については実感が湧いていませんでした。今回実際に銃を見たことによりその危険性を感じました。ワークショップで聞いたスマートガンについてもより深く理解できました。

### 派遣を終えて

## ○派遣高校生 YMさん

今回の派遣で特に感じたことは自分の英語力不足です。どんな話がされているのかはなんとなくわかったのですが、あまりそれに自信が持てませんでした。中でもホストファミリーのお友達同士の会話についていけなかったり、正しく伝えたいことが伝わってなかったり、質問の意味が分からなくて聞き返してしまうことが少なくなかったのも、もっと聞き取りの能力や単語や英語の表現を学んでおくべきだったと少し後悔しました。相手がゆっくり話してくださったり、耳を傾けてくださったこともあるのですが、予想していたよりも英語で会話ができ、ホストファミリーや世界中の子、現地の店員さんなどと会話をしている時がすごく楽しく、伝えたいことが伝わったときは本当に幸せでした。私がかかわった子のほとんどは自分の国で英語が話されている国出身でペラペラとどこの国の子も英語を使って世界中の子とコミュニケーションをしているのを見て、国際語としての英語の大切さを学びました。

事前研修や事後研修を含めた今回の派遣は楽しいことや、学ぶことがたくさんあり、これらの経験は私にとってすごく大きなものであり、このような素晴らしい経験の機会を与えてくださった横浜市国際局や学校の先生方、TCS・英会話部員、現地の方々、家族に心から感謝いたします。

## ○派遣高校生 KSさん

今回の派遣で自分は英語が勉強不足だということを痛感しました。洋服を買うときには店員さんの英語が聞き取れないことがあってとても苦労しました。会議中に他の学生とコミュニケーションをとるのがとても大変でした。しかし、とても楽しかったので、もっと話せるようになりたいと思いました。今回の派遣で様々なことを経験することが出来ました。自分自身の視野はとても広くなり成長することが出来ました。海外の学生は会議中にとってもよく考え、意見をしっかり持ち、話せていて、僕とは全然違っていました。もっと勉強していく必要があります。この経験を糧に頑張ろうと思います。

今回の派遣に関わってくくださった全ての人に感謝を忘れずにこれからの人生に生かしていきたいと思っています。